

## 第6回校内研修会を終えて

1月24日（金）に第6回校内研修会が開かれました。今回の研修会では、八木先生の道徳の授業参観・授業整理会、新宮弘識先生より「研究授業の講評と授業づくりで大切なこと」という内容の講演会が行われました。

道徳の授業は、「養生訓」を取り上げた漫画を通して、健やかな体を養うために節度や節制のある生活を送ることの大切さを考えさせ、自分自身の「養生訓」を作るという内容でした。八木先生の授業では、事前に自分自身の生活について問うアンケートを行い、生徒が現在の生活と結びつけて考えることができる工夫が見られました。

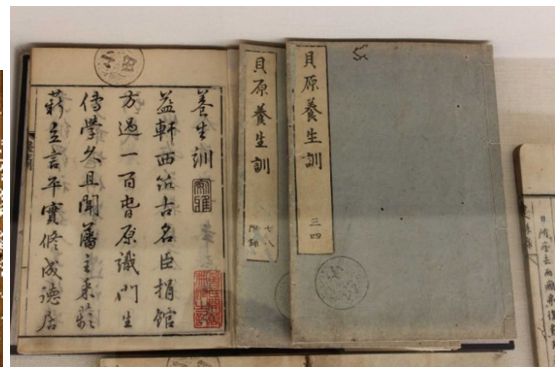


**資料1** 貝原益軒  
江戸時代の  
本草学者・儒学者

**資料2** 貝原益軒著『養生訓』

### 『養生訓』とは何か…

正徳2年（1712年）に福岡藩の儒学者、貝原益軒によって書かれた、養生（健康、健康法）についての指南書のこと。長寿を全うするための身体の養生だけでなく、精神の養生も説いているところに特徴がある。



### 道徳の授業改善の視点

#### 「研究授業の講評と道徳の授業に関する質問とその回答」（新宮 弘識 先生）

##### 1 本日の道徳の授業について（研究授業の講評）

**【授業改善のポイント①】** 道徳の内容項目に関する理解を深める。（「節度」と「節制」とは）

「節度」…スケールを決めること 例）ゲームの時間を決める、次にやるべきことを頭に入れておく。

※「節度」は決めたはいいが、長続きしないものである。（どうしても怠けてしまう…）

↓  
「節制」…怠ける心をコントロールすること

【疑問】どうやったら「節制」する行動を生むのか。

【答え】節制を心がけた生活を送る意義（理由）を理解させることが大切である。【指導要領解説 28頁】

★心身の調和ある生活の実現に努めることは、自己の人生を豊かにし、意義のある生き方につながる

**【授業改善のポイント②】** 自分自身の『養生訓』を作る理由をしっかりとおさえる。

生徒たちが立てた「3学期の目標」と関連付ける方法があるのではないか。

例) 部活動でスタメンになりたい

いい成績を取りたい

できないことをできるようにしたい

→ これらを達成するために「節度」「節制」のある生活を送る必要がある。

=自分自身の『養生訓』をつくる必要性が出てくる。

## 2 道徳の授業に関する質問とその回答

### 〔質問その①〕 道徳は教えてはいけないと言われるが、教師の指導はどのように考えたらよいか

★相手の意思を無視して、一方的に良い行為や考え方を強要する教育があってはならない。

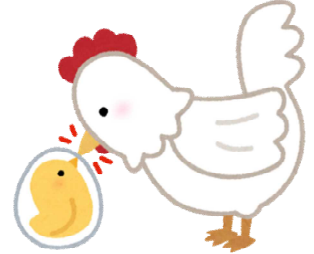
☞【指導要領解説より】生徒自らが考え、理解し主体的に学習に取り組むことができるようにする。  
特定の価値観を押し付けたり、言われるままに行動したりするように指導することは望ましくない。

★教師も生徒も不完全な存在であることを理解する。

☞価値の強要ではなく、教師も一人の人間として自分自身の考えを共有する。  
教師は「学友であり先覚者である」べきである。

★「子どもの主体性」と「教師の指導性」のバランスを大切にする。

☞「啐啄同時（碧巖録）」「憤せずんば啓せず。悱せずんば発せず。（論語）」



### 〔質問その②〕 1時間の道徳の授業で子どもは変わるのか、また、子どもを変えるものは何か。

★子どもは変わるが、また元に戻る。再び授業する。また元に戻る。……

☞これを繰り返すことで子どもは変わる！

★子どもを変えるもの…教材、友達の意見、教師の考え、授業以外の場面など

### 〔質問その③〕 子どもの行為を生む心を見るにはどうしたらよいか。

★「心」は見えない。そのため、「行動」から見るしかない。

例) 電車の中で老人に席をゆずった(行動) ← (心) カッコいいところを見せたい、決まりだから  
自分のおばあちゃんを思い浮かべて…

☞教師の勘、行動を生んだ心を見ようとする気持ち→その心を見るときは温かい目で見ることが大切



### 〔質問その④〕 発問に対する子どもの反応を道徳的に深めていくには、どうしたらよいか。

★多面的・多角的な反応が期待できる発問であること。

★子どもの反応を理解し合う活動を大切にすること。

★子どものいろいろな反応を道徳的な観点から比較させたり、類別させたりして構造的に関係づけること

### 〔質問その⑤〕 終末で生活上の課題を持たせる学習はどのように考えたらよいか。

★道徳の授業は「道徳教育の終わり」ではない。道徳の授業は「道徳教育の始まり」である。

☞道徳の授業の終わりに宿題を出す。

例) 学校で勉強したことを親・友達と話し合ってみよう。

学校で勉強したことについて、本を読んで調べてみよう。などはじめのうちは教師が課題を出してみる。そのうち、教師が課題を出さずとも、子どもが一人ひとり見つける学習へとつながる可能性がある。



### 【学んだことや感想から】

○授業づくりについては、学習指導要領をよく読んで中学校で取り扱う価値についての理解を深めておくことが大切だと思いました。また、教師としての心構えも再確認することができました。特に、生徒をどのような目で見ることが大きく子どもの心に影響するというお話が心に残りました。

○子どもの反応を黒板に羅列するだけでは、子どもたちの生活に結びつきづらいということが、勉強になりました。子どもの反応を道徳的な観点から比較・分類し、構造的に関係づけることで、子どもたち自身の生活に結びつけて考えることができるようになるということが分かり、実践していきたいと思いました。